

近大奈良 DMAT

～令和6年 能登半島地震における活動～

この度の石川県能登半島地震で被災された皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。

現地での活動を
報告します！



令和6年1月1日16時10分頃に
発生した石川県能登地方を震源
とする地震における、近畿大学
奈良病院DMATの活動を報告
させていただきます。

詳しい報告は中面をご覧ください

近畿大学奈良病院 DMATチームです！



近畿大学
奈良病院

公式SNS 始めました！

最新の医療情報、専門家による健康アドバイス、そして院内外の活動
をお届けしています。チャンネル登録して、最新動画をお見逃しなく！

各SNS
アカウントはこちら
登録お願いいたします♪



YouTube

Instagram



CONTENTS

- P1～P3 近大奈良DMAT 活動報告
- P1 公式SNS始めました！
- P4～P6 新体制の診療科のご紹介
- P6 受賞者のご紹介 P7 栄養だより／薬剤コラム
- P8 イベント開催のお知らせ
フォトコンテスト関連のお知らせ／編集後記

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは?

災害超急性期から活動する専門的な訓練を受けたチームで、
医師、看護師やその他の医療職員や事務職員で構成されています。

.....

今回の地震では、1月3日に、石川県から奈良県にDMAT派遣要請があり、近大奈良DMATは、1月4日～1月7日(医師1名、看護師2名、事務1名)と1月21日～1月26日(医師1名、看護師2名、薬剤師1名)の計2回、現地での活動を行いました。



1回目 1/4 ～ 1/6：被災している病院の物資支援

まず、1月4日からの活動では、石川県庁(金沢市内)内に置かれた石川県保健医療調整本部で、被災している病院の物資支援を行いました。1月4日時点では、13病院に物資の支援が必要な状況でした。被災病院の職員や、それらの病院に派遣されているDMATからは、「明日のご飯がない」、「簡易トイレが足りない」といった危機感を要望がありました。



しかし、金沢市内にある備蓄倉庫から能登地方の病院へ物資を届けるには、陸路で8時間以上かかり(普段は2時間程度の道のり)、発注を受けてから約2～4日以上経過しないと物資が届かないことがほとんどでした。このような経験から、改めて平時から備蓄や災害時の物資支援体制の整備が必要であると強く感じました。

2回目

1/21 ~ 1/26：要介護者のケアや搬送



つぎに、1月21日からは、金沢市内にあるスポーツセンターに開設された一時(ひととき)待機ステーションで活動しました。

◀ 現地での搬送業務

ここは、能登方面における要介護者(主に介護施設入所中に被災した利用者や自宅療養していた方)が新たな入所先の決定までの期間、一時的に待機する施設でした。ここで要介護者のケアや容態の悪化した要介護者を近隣病院へ搬送する業務を行いました。



▲ 出発時の見送り

まとめ

今回の活動のように、今後、隣県での災害、たとえば南海トラフ地震が起きた場合など、奈良県が金沢市の役割を担うことも考えられますので、災害によって負傷した方だけではなく、被災地域の入院患者さんや、自宅療養をされている方などの受け入れにもついても考えていく必要があります。

当院は、奈良県の災害拠点病院として、西和保健医療圏の災害医療の中心を担う役割があります。今後も訓練等を通して、医療機関、消防、行政、地域住民の方々など連携を深めていきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(担当：看護部 副看護長 辻谷 太)

よろしく
お願いします!



新体制になりました！

2024年より所属長が新しくなった診療科をご紹介します



眼科

教授/診療部長 杉岡 孝二

教授就任のご挨拶

2024年4月1日付けをもちまして、近畿大学奈良病院眼科を担当させていただくことになりました。ここに皆さんに謹んでご挨拶申し上げます。当科のモットーは「最良の医療を近大奈良眼科で」です。

目は一生使う大切なものです。今後も地域の患者さんから信頼される医療を提供できるように全力をあげて努力させていただきます。

さて、今日は眼科の中で一番患者さんが多い**白内障**についてお話させていただきます。

白内障は眼の中の**水晶体というカメラというレンズにあたる部分が濁る病気**です。白内障は、髪の毛が白髪になるのと同じようにすべての人が年をとると生じる現象です。しかし、なりやすい人、なりにくい人がいます。

年をとるとかかりやすくなるこの病気で、世界では多くの人が視力を失っています。でも今の日本では**痛みの少ない安全な手術で白内障を治すことができます**。早めに発見することで年をとっても見えやすさを保つことができます。年間120万件もの手術で多くの人が視力を取り戻しています。

一般的には60歳代から軽微ですが水晶体の混濁が始まります。そして、平均すると80歳前後から症状を訴える患者さんが多くなります。白内障は顕微鏡を用いて眼科疾患を調べる一般的な検査でわかります。

治療は薬物療法と手術があります。ただし薬物療法は進行を遅らせることしかできず、**根治できるのは手術**だけです。白内障手術では**濁った水晶体を取り除き、その代わりに人工の水晶体(眼内レンズ)を挿入**します。手術は局所麻酔で行い、平均的な混濁の白内障であれば**手術時間は10分前後**です。日帰り手術も可能です。

眼のかすみ、最近眼鏡が合わなくなってきた人は白内障かもしれません。ぜひ当科にお越しください！



腎臓内科

准教授/診療科長 大矢 昌樹

新体制について

本年1月より近畿大学奈良病院 腎臓内科科長として着任いたしました大矢昌樹です。1998年に和歌山県立医科大学卒業後、同大学に入局し、和歌山県内や大阪府下の病院にて臨床経験を積ませていただきました。その後2009年に和歌山県立医科大学腎臓内科学講座に戻り、15年間勤務をさせていただき、このたび地元である奈良県に戻ることとなりました。本年4月からは腎臓内科は新体制のもと、診療をさせていただいています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

腎臓は沈黙の臓器と呼ばれ、**病状が進行するまで自覚症状がでないことも少なくありません。日本では成人の8人に1人が慢性腎臓病(CKD：シーケーディー)**であるといわれています。残念ながらCKDであることが診断されないまま治療を受けておられない患者さんも多くおられます。まずは健診をしっかり受け、検尿異常や腎機能異常がある場合にはそのまま**放置せず、腎臓専門医の早期診断・治療が重要**です。近年CKDに対する薬剤を含めて様々な選択肢が増えてきています。また食事療法や生活指導など薬物療法以外の治療においてもCKDの進行や重症化を予防するうえでとても大切なことといわれています。

当科では、健診における蛋白尿や血尿の精密検査、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎などの腎炎の診

断治療、急性腎障害、慢性腎臓病診療、透析療法の開始、さらには透析期における透析合併症予防など**あらゆるステージの診断治療に力を入れています**。また、腎臓専門医をはじめ、薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士、医療ソーシャルワーカーなど様々な職種が一つのチームになって一人一人の患者さんと一緒になってCKD診療に取り組んでいくチーム医療を実践しています。**「患者さんを決してひとりにしない」**をモットーに、常に全力で患者さんやご家族をサポートいたします。



消化器内科

診療科長 本庶 元



新体制について

2024年4月から新たに4名の医師が赴任しました。水野内視鏡部教授(胆膵)、木下医師(消化管)、有山医師(消化器全般)に加え、本庶(消化管)、高橋医師(肝臓)、千品医師(肝臓)、杉崎医師(消化器全般)の7名体制となりました。

消化器疾患は範囲が広く上部消化管、下部消化管、肝胆膵と多岐にわたっています。急性腹症、下血や血便などの消化管出血、閉塞性黄疸など**救急対応を必要とする疾患が多くあります**。また、本邦における**死因の第一位を占めている“がん”**という疾患の大部分は**消化器がん**であり、胃がん、肝がん、大腸がん、膵がん、胆道がん、食道がんなどが日本人のがん死亡の上位を占めています。さらに内視鏡、造影エコーや血管造影などの検査、治療を担当しており、画像診断の能力や内視鏡治療、血管造影カテーテル治療など**治療技術を求められる診療科**でもあります。

当科には消化管出血、胆嚢炎、閉塞性黄疸などで全身

状態が悪く緊急入院となる患者さん、がんと診断された患者さん、リスクのある内視鏡的治療を受けられる患者さんなど不安を抱えて受診される方がたくさんおられます。**患者さんの不安に耳を傾け、十分な説明を心がけたい**と考えています。また、診断や治療の技術をみがき、他の診療科と協力しながら**安全で安心できる治療を提供**できるように心がけていきます。



産婦人科

診療科長 関山 健太郎

新体制について

奈良県下の分娩件数は、2017年に9,089件、2022年に7,374件と、5年間で20%も減少しています。全国的にも分娩件数が減少し、分娩施設の集約化が進んでいます。このような社会情勢のなか、近畿大学奈良病院では令和6年3月末をもって分娩の取り扱いを休止しました。4月からの新体制では、婦人科腫瘍に対する診療機能を拡充いたします。特に低侵襲手術(腹腔鏡下手術)については常勤として内視鏡技術認定医3名を擁し、安全性の高い手術が提供できる診療体制が整っております。

手術に対する当科の構え

良性腫瘍手術は併発症がなければ成功と言えます。一方で、悪性腫瘍(がん)手術では、併発症なく、後々に再発しないように病変を切除する必要があります。かといって過剰に組織を切除してしまうと、機能障害が残ってしまう可能性があります。

婦人科臓器は膀胱と直腸の間に挟まれる形で存在するために、婦人科手術は膀胱・直腸障害の危険性と隣り合わせにあります。特に膀胱/尿管と子宮の血管/神経は重なり合い、共有関係にあります。子宮がん手術では重なり合った解剖構造をほどいて、必要な機能を選択的に温存しつつ十分な切除範囲を確保することが求められます。切除範囲を広くすることと機能温存を両立させるために

は、正確な手術解剖の知識と豊富な悪性腫瘍手術の経験が必要です。当科では、婦人科腫瘍専門医・指導医、内視鏡技術認定医のチーム医療で丁寧で精緻な手術を心がけています。



おわりに

婦人科疾患で悩まれている方々のご負担を少しでも軽くできるように、
個々の患者さんに
応じた最善の
治療を提供する
よう努めてまいります。



受賞者のご紹介

2名の先生が受賞されました!

第102回
日本呼吸器学会
近畿地方会

「若手アワード」
優秀賞

近畿大学奈良病院
専攻医 松元 哲也



奈良県医師会 学術奨励賞



近畿大学奈良病院
循環器内科 医学部講師 鈴木 智詞

栄養だより

無理なく減塩を始めてみよう!

高血圧や慢性腎臓病の人の1日あたりの塩分目標量は「3g以上6g未満」です。一方、日本人の食塩摂取量の平均は1日10g前後。「減塩したいけれど、なにから始めたらいいかわからない。」そのような方に、今回は市販品に添付されている調味料を有効活用した減塩法についてお伝えします。



付属のタレを活用して1品を2品に!

納豆のタレで1品をアレンジ

納豆に附属しているタレをそのまま使わず、**塩分控えめの食べ方**に。タレを上手に使い、**もう1品のおかず**に活用しましょう。

(一般的なタレの食塩相当量 0.6g)



市販品に添付のドレッシングやソースなどは「すべてその品にかけるもの」と思い込んでいませんか? ちょっとした使い方の工夫で1食あたりの食塩摂取量を減らすことができます。

(文責: 栄養部 井口 真宏)

1品目 塩ごま油納豆

食塩相当量 … 0.3g

- ① 納豆1パックを混ぜる。
- ② 納豆のタレ1/2袋、ごま油 小さじ1を加えて混ぜる。



2品目 オクラの和え物

食塩相当量 … 0.3g

- ① 切ったオクラに残りの納豆のタレ1/2袋を加えて和える。
- ② お好みでかつお節を追加する。



薬剤コラム

薬剤時事ネタシリーズ その6

～健康食品について～

今回は「健康食品」についてとりあげます。錠剤・カプセル状の健康食品は医薬品と混同されがちですが、この2つは全く異なります。その違いは**製品の品質、安全性と有効性の科学的根拠、そして利用環境**です。

健康食品は粗悪品、過剰摂取、アレルギー体質の人の利用、医薬品との相互作用などの原因により、**健康被害に繋がる場合があります**。たかがサプリメントと思っても、信頼できるものを選びましょう。



保険機能食品とは?

国や事業者による効果の裏付けがある健康食品を「**保険機能食品**」と言います。

特定保健用食品

通称トクホ。国が人での安全性と効果を個別製品として審査し、消費者庁長官が保険機能、健康の維持・増進に役立つ効果等の表示を許可した食品



栄養機能食品

人での安全性と効果の科学的根拠が明らかとなっている、ビタミンやミネラル等の栄養素について、その製品の含有量が、国が定めた基準を満たしていれば栄養機能が表示できる食品

機能性表示食品

事業者の責任において、一定の科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品
安全性と機能性の根拠等は販売前に事業者から消費者庁長官に届けられ、届出情報が消費者庁のウェブサイトで公開される

健康食品を利用する際は、保健機能食品のように**国や事業者による効果の裏付けが示されていること**が製品を選ぶ際の一つの目安になります。違法な健康食品や、品質の確認できない健康食品は利用しないよう気をつけましょう。(文責: 薬剤部 島谷 悠里)

市民公開講座

無料/予約不要

～知っておこう! 肝がんのこと～



- ① 診断と内視鏡的治療について 消化器内科 医学部講師/大本 俊介
- ② 外科治療について 肝胆膵外科 講師/亀井 敬子
- ③ 薬物治療について 腫瘍内科 医学部講師/三谷 誠一郎
- ④ 集学的治療と当院での取り組みについて 肝胆膵外科 主任教授/松本 逸平

対象 どなたでも

開催日時 8/24(土) 10:00～12:00
パーソナルカラー診断体験ブース13:00まで

開催方法 ・対面形式
・zoom(オンライン形式)

開催場所 近畿大学医学部 円形棟
大講堂

オンライン参加の方
当日はこちらの
QRコードより
ご視聴ください



ともに生きる会

無料/予約不要

～公開セカンドオピニオン～

「婦人科がん」をテーマに、専門医師や看護師がレクチャーを行い、視聴者のみなさんの病気に関する気になる疑問・質問にライブ形式でお答えします!

テーマ 婦人科がん

対象 どなたでも

開催日時 8/24(土)
13:30～16:00

開催方法 Youtube
(ライブ配信)



当日はこちらの
QRコードより
ご視聴ください



なごみサロンの会

無料/要予約

がん患者さんやご家族がお互いの経験を語り合い、それぞれの悩みや不安な気持ちを分かち合う交流の場です。交流会の前にテーマに沿った15分間のミニレクチャーを行います。

開催日とミニレクチャーのテーマ

- ① 7/27(土) 「治療による外見変化へのケア」
- ② 10/26(土) 「アドバンス・ケア・プランニング」
- ③ 12/7(土) 「こころのケア」

対象 がん患者さんや
ご家族

開催時間 10:00～11:00

開催方法 対面形式

開催場所 近畿大学病院内
(お部屋はお申込者に個別でご案内いたします)

お申込みは
こちら



がん患者サロン生駒

無料/要予約
※当日参加可

(毎月第3水曜開催予定)

がん患者さんやご家族がお互いの経験を語り合い、それぞれの悩みや不安な気持ちを語り合う交流の場です。

対象 がん患者さん及びご家族、パートナー・友人

開催日 7/17(水)・8/21(水) 開催時間
9/18(水)・10/16(水) 14:00～16:00

開催場所 近畿大学奈良病院 5階 大会議室

申込みに
関する
お問合せ先 近畿大学奈良病院
がん相談支援センター・患者支援センター
☎0743-77-0880(代表)

第8回 フォトコンテスト入賞者発表

- 最優秀賞 : 桜の病院/C.D様
- 広報委員長賞: 正面玄関の癒しお世話中/H.K様
- 優秀賞 : ジングルベルクリスマス透析/E.K様
- 優秀賞 : 真夏の虹/O.F.G様
- 技術賞 : 大きくなったら近大で働きたい/S.M様
- アイデア賞 : 自然豊かな環境で糸とんぼと診察待ち/N.I様
- 企画賞 : 日は好日/H.O様



メールでのご応募も可能です!
kindainarakoho@med.kindai.ac.jp

第9回

フォトコンテスト
応募期間

6/1(土)～8/31(土)

応募はこちらの
QRコードから

アクセスにはGoogle
アカウントが必要です



編集
後記

近畿大学奈良病院へ新たに赴任した医師やDMATを取り上げた本記事では、医療の最前線で活躍する医療者の卓越した技術と献身的な活動に焦点を当てました。医師達は日々の診療に加え、研究と教育に尽力し、地域医療の向上に寄与しています。先生方の努力と情熱が、多くの患者さんに希望を与え、医療の未来を切り拓いていることを再認識しました。災害医療のプロフェッショナルであるDMATは、日頃の訓練の成果を十二分に発揮し、現地の医療者と協働して被災地で医療ケアを必要とする地域住民のサポートに貢献することができました。広報委員会では、今後も当院で働く誇り高き職員を応援し続けたいと思います。(担当: 看護部 主任 亀本 望)



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学奈良病院

〒630-0293 奈良県生駒市乙田町1248-1 TEL 0743-77-0880
E-mail: infonara@med.kindai.ac.jp https://www.med.kindai.ac.jp/nara/

発行日 令和6年7月
発行場所 近畿大学奈良病院
編集 広報委員会

